

# 全国交流集会参加申込み 締切日:10月20日(金)

下の申し込み用紙に必要事項を記入の上、FAXもしくはメールでお申し込みください。  
 申し込み用紙は全国災対連のホームページからダウンロードできます。http://www.zenkoku-saitairen.jp/

申し込み用紙					
フリガナ 氏名			都道府県	所属団体・職場等	
		男 女			
連絡先 (自宅/職場)	住所	〒 都道府県 市区町村			
	連絡先電話番号	FAX			
	携帯電話番号	E-mail address			
参加日 (希望に✓を)	<input type="checkbox"/> 10日 <input type="checkbox"/> 11日	懇親会 (希望に✓を)	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加	分科会番号(必須) (希望する分科会に○を)	1・2・3・4・5
宿泊	●各自・団体が確保して下さい。都内は空き室が少ないため、はやめの予約を ●勤労者レクリエーション協会が下記のホテルの予約を受付ます。(10月20日まで) 上野ターミナルホテル(1泊朝食付き・税込み9,180円) 申込み先:03-3984-0401(平野・藤田まで) http://www.kinrec.co.jp				
<input type="checkbox"/> 関東大震災メモリアル・バスツアー (3500円(昼食付き・希望者は✓を入れて下さい) バスツアー参加希望の方は9月30日(土)までに申し込んで下さい					

## 東京・千葉・埼玉・神奈川から参加される方の申込み先

東京災対連 TEL 03-5940-7951 FAX 03-5940-7957 (東京自治労連内)  
 Email: honbu@tokyo-jichiroren.org

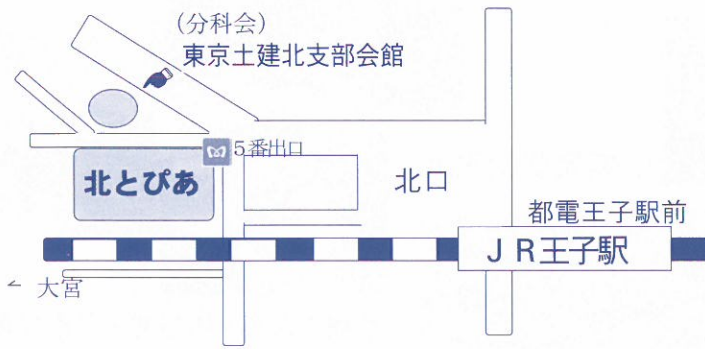
## 東北被災3県から参加される方の申込み先

岩手県: 救援・復興岩手県民会議 TEL 019-625-9191 FAX 019-654-5092  
 宮城県: 復興支援みやぎ県民センター TEL 022-399-6907 FAX 022-399-6925  
 福島県: ふくしま復興共同センター TEL 024-522-3097 FAX 024-522-3102

## 上記以外の地域から参加される方の申込み先

全国災対連 TEL 03-5842-5611 FAX 03-5842-5620

## 会場図



### 公共交通

JR東京駅から京浜東北線快速 15分  
 JR上野駅から京浜東北線 8分  
 JR大宮駅から京浜東北線快速 29分  
 東京メトロ四谷駅から 17分

羽田国際空港から東京モノレール～浜松町～JR京浜東北線 48分

### 自動車

首都高速中央環状(王子)線・新板橋出口もしくは王子北出口



憲法をいかし、防災、被災者本位の復旧・復興と原発ゼロへ

# 災害対策 全国交流集会 2017 in 東京



記念講演



首都直下・南海トラフなど巨大地震災害に備える

平田直

(主な役職) 東京大学地震研究所 地震予知センター長 教授  
 国・地震調査委員会委員長、中央防災会議委員

日時

11月10日(金)～11日(土)

会場

北とぴあ・飛鳥ホール

受付: 13F・飛鳥ホール(地図4p)

- 参加費/2000円(1日参加1000円)
- 全国交流・懇親会/3000円
- 申し込み用紙4p/締切10月20日(金)
- ◆ バスツアー申込締切/9月30日(土)

1日目

受付: 12:30～  
 全体会: 13:00～  
 分科会: 14:20～  
 懇親会: 18:00～

2日目

記念講演: 09:00～  
 全体会: 11:00～  
 閉会: 11:45

バスツアー: 12:30 出発

## 集 会 目 的

東日本大震災・原発事故から6年半が経過し、広島・北九州土砂災害、常総市をはじめとする豪雨水害、熊本や鳥取の地震など被災地・被災者の現状と課題、運動を広く共有することをめざします。

政府による被災地切り捨てや風化、原発事故の損害補償打ち切りなどを許さず、憲法25条にもとづくナショナルミニマムと13条の幸福追求権を確保する被災者本位の震災復興を国民共同の課題とすることをめざします。

これまでの自然災害を踏まえ、首都直下地震や南海トラフなどの大地震、火山噴火、豪雨、土砂災害をはじめとする自然災害に対する防災、減災のあり方と、生活再建をはじめ人間復興に向けた法改正や法整備、災害対策の制度設計のあり方、自治体の役割などを検討します。

## 主催 全国交流集会 2017 in 東京実行委員会 <実行委員会の構成・連絡先>

- 全国災対連 ○東京災対連 ○復興岩手県民会議 ○みやぎ県民センター
- 宮城災対連 ○ふくしま復興共同センター ○広島災対連

<連絡先> 〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4階 全労連気付 TEL03(5842)5611 FAX03(5842)5620  
 http://www.zenkoku-saitairen.jp/ Email: saigai-shien-kaizen@zenkoku-saitairen.jp



# 1日目(10日・金)

## 全体集会

飛鳥ホール 13:00~14:00

### 主催者挨拶・来賓挨拶

### 被災地からの報告

東日本大震災・原発事故・広島土砂災害・常総市水害・熊本地震・九州北部豪雨災害

## 分科会

14:20~17:30

### 第1分科会



### 被災者本位の復興と支援

特別報告：綱島不二雄 (みやぎ県民センター代表世話人・元山形大学教授)

- 被災者の復興を阻む創造的復興
- 人間復興をめざす災対連運動の役割

### 災害対策のための法整備の課題

特別報告：中村八郎 (NPO 法人くらしの安全安心サポーター理事長)

- 災害対策基本法・災害対策救助法など法整備の課題



### 第2分科会

### 第3分科会



### 福島原発事故と原発再稼働を考える

特別報告：鈴木浩 (福島大学名誉教授・元福島県復興ビジョン検討委員会座長)

- 被災地の実態と復興の課題
- 原発再稼働に抗する運動

### 地震に備える

コーディネーター：岡田昭人 (早稲田大学都市・地域研究所招聘研究員)

- 各地でひろがる防災のとりくみ
- 公的責任で地震に負けない地域・まちづくりを



### 第4分科会

### 第5分科会



### 異常気象と風水害

特別報告：増田善信 (気象学者・元気象庁気象研究所研究室長)

- 異常気象のもとで多発する風水害に備える

## 全国交流・懇親会

- 時間 18:00~20:00
- 会場 北とぴあ・飛鳥ホール(13階)
- 会費 3,000円(食事+飲み物)

分科会の会場は当日ご案内します

参加者のみなさん。被災の現状や地域や職場でのとりくみを積極的に紹介・発言してください。

# 2日目(11日・土)

## 記念講演

飛鳥ホール 09:00~10:50

地震列島といわれる日本。切迫が指摘されている首都直下地震や南海トラフ地震をはじめ、いつ、どこで地震災害が起きてもおかしくないといわれています。そうしたもとで国民の生命と財産、地域の産業などを災害から守るためのとりくみ、「自然現象」を「災害」にさせないための予防の視点にたった対策が急がれています。今回は、東京大学地震研究所地震予知センター長で国の中央防災会議の委員をつとめている平田直教授をむかえて、地震のメカニズムと防災の視点に立った対策について講演をおこないます。

## 全体会

飛鳥ホール 11:00~11:45

### 分科会報告・全体討論

### まとめ・閉会挨拶

## 関東大震災メモリアル・バスツアー

1923年9月1日に発生した関東大震災は、南関東一円で建物倒壊、津波被害、大規模火災を起こし、全体で建物被害37万棟、死者10万5000人余。首都東京では火災による死者を中心に7万人を超える人々が犠牲となり、なかでも、被服廠跡地(現墨田区・横網町公園)では火災旋風によって3万8000人が犠牲となりました。今回のバスツアーでは、この被災地

となった横網町公園を訪ね、復興記念館で震災の資料を見学、慰霊堂、朝鮮人犠牲者追悼碑を訪ね、ついで、革新都政(1967~1979)が「自然災害を人災にさせない」という強い決意で建設した白鬚東防災拠点を見学、東京都消防庁の本所防災館で防災体験ツアーに参加します。帰路、大問題となっている豊洲新市場と築地市場を經由して東京駅で解散します。

募集人員：40名。参加費3500円(昼食付き)

集合：北とぴあ1階ロビー 出発：12:30

解散：東京駅17:30頃

